

特色ある取組

1 コミュニティ・スクールを推進します！

コミュニティ・スクールとは、保護者や地域の皆さんと子供の教育や学校運営について話し合ったり、子供たちへの支援を行ったりするなど、学校、家庭、地域が目指す子供像を共有しながら、協働して子供を育てる仕組みをもった学校です。

本一貫校では、「夢に向かってかがやく子」育成アクションプランをもとに、目指す子供の姿の実現に向け、学校、児童・生徒、家庭、地域それぞれの役割を明確にして、責任をもって取組を進めます。

2 9年間を見通した教科等指導を推進します！

一貫校研修を通して、小野の子供の「強み」である「表現力」を伸ばします。全ての教科等部会において、指導の重点である「小野の〇〇」(各教科)を定め、指導の充実を図ります。

3 子供主体のいじめ防止活動を推進します！

縦割班活動、異年齢交流を通して、人間関係を築く力を育てるとともに、温かな人間関係づくりに努めます。

- (1) 児童会・生徒会中心のあいさつ運動やいじめ問題解決に向けたこども会議
- (2) 登校班、レインボー活動による異学年交流
- (3) きずなタイム、生徒会を中心とした生徒集会、小野中マナーの取組
- (4) 学校いじめ防止基本方針に基づきいじめ防止担当教員を中心とした組織的な対応
- (5) 地域全体でいじめを防止する風土づくりに向けた地域の方との教育懇談会の開催

4 家庭と協働した読書活動を推進します！

家庭と協働した取組を推進し、子供の読書時間を確保するとともに、本がいつも身近にある状況を作って読書に親しませ、豊かな心を育てます。

- (1) PTAと協働した、子供が家庭で読書する習慣づくり(家読のすすめ)
- (2) 業前の朝読書や、読書の時間の設定などによる、学校での読書時間の確保
- (3) 図書委員会と学校図書館司書との協働による、主体的な読書推進活動
- (4) 読み語りボランティア活動など、地域ボランティアを生かした読書推進

5 地域と協働した活動を推進します！

地域と協働した取組を推進し、子供の地域に感謝し地域を愛する心を育てます。

- (1) 「おのハンモック」(地域学校協働本部)を中心にした、学習支援、クラブ活動支援、学校行事等への学校ボランティア活動の推進
- (2) 登下校の見守りによる安全確保とあいさつ運動の推進
- (3) 合唱部、吹奏楽部による地域行事等への参加
- (4) 地域施設、幼稚園・保育所等訪問、チャレンジウィーク等による地域との連携



「おのハンモック」シンボルマーク

＜児童生徒数＞

令和4年4月1日現在

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計
68	88	85	100	101	103	100	97	89	831

藤岡市立小野小学校
住所:藤岡市森541
TEL:0274-22-2546
児童数:545名
学級数:20学級(特別支援2学級)

藤岡市立小野中学校
住所:藤岡市立石407
TEL:0274-24-0104
生徒数:286名
学級数:9学級(特別支援3学級)

令和4年度 小野連携型小中一貫校 学校要覧

＜教育目標＞夢に向かってかがやく子の育成

挑戦(かしこく)・共生(なかよく)・自立(たくましく)

＜小野連携型小中一貫校のカリキュラム＞

- 学校要覧(本リーフレット)
9年間の教育プランと特色ある取組
- 「夢に向かってかがやく子」育成アクションプラン
教育目標実現に向けた、学校、家庭、地域、児童・生徒の具体的な取組内容
- 学習の系統表
各教科等の9年間の学習のつながり
- 年間指導計画
各教科等の1年間の指導計画
- 「小野の〇〇」教科等指導の重点
各教科で重点的に育成したい子供の資質や能力
- 各種リーフレット
 - ・ 2022年度 コミュニティ・スクール
 - ・ 「まちのたからマップ」人・もの・こと
 - ・ 「まちのたから」を学びに生かす9年間
 - ・ 「夢に向かってかがやく子」キャリア教育の9年間



小野小学校



小野中学校

＜小中一貫教育の指導体制＞

- 小学校5・6年生では、次の教科で教科担任による授業を行います。
・国語 ・社会 ・算数 ・理科 ・音楽 ・外国語 ・家庭科 ・図工
- 中学校の教員が小学校に兼務し、6年生の授業を行います。
・算数 ・理科 ・外国語 ・図工
- 「おのハンモック」の学校ボランティアが、一貫校の授業を応援します。

＜小野一貫校で目指す授業＞

- ◎ 子供一人一人に各教科の知識・技能などを確実に身に付けさせる授業
- ◎ 知識・技能を活用し、小野の子供の強みである「表現力」を高める授業
- ◎ 子供が学習のめあてをもち、その解決に向けて主体的に取り組む授業

＜具体的な手立て＞

- 「学習スタンダード」の励行により、課題解決に向けた学び方を身に付けさせます。
- 学びのつながり、「これまで」「ここでは」「このあとは」を明確にした授業を行います。
- 「つなぎ教材」活用して、一人一人が課題解決をする力を高めます。
- 子供のよさを認め、ほめ、伸ばす生徒指導を推進し、「やる気」を育みます。
- ネームプレートを活用し、生徒指導の3機能を生かした授業を行います。

令和4年度 小野連携型小中一貫校教育プラン

[地域で育てる子供の姿]

[地域で目指す学校の姿]

夢に向かってかがやく子 9年間の学びを大切にし、地域とともに子供を育む学校

小学校1・2・3・4年
学習習慣や生活習慣を確実に身に付ける時期

小学校5・6年、中学校1年
学びや人間関係を深め合う時期

中学校2・3年
個性を伸ばし、他者と協働しながら社会自立へ向かう時期

やる気を育む生徒指導(全教育活動で生徒指導の3機能を生かします)といじめの防止

- 一人一人を大切に、子供のよさを認め、ほめ、伸ばします
- 授業を中心に、自分で学ぶ楽しさや達成感が味わえるようにします

挑
戦
か
し
こ
く

【目指す子供の姿】 確かな学力を身に付けた子

【小野一貫校研修主題】 「学びをもとに主体的に判断・表現できる子供の育成」

学級担任による指導

- ・学習ルールを身に付け、基礎基本を確実にします
- ・話をしっかり聞き、自分の考えをもちます

教科担任による指導

- ・これまでの学びを生かし、課題を解決します
- ・友達の考えを取り入れて、自分の考えを深めます

完全教科担任制による指導

- ・これまでの学びを活用し、思考力・判断力・表現力を高めます
- ・友達と協働して、主体的に課題解決を図ります

○学習のスタンダードでの授業 「めあてをはっきり」 → 「課題をじっくり」 → 「まとめをしっかり」 → 「ふりかえりをみっちり」
(課題をつかむ) (自分の考えを持つ・考えを伝え合い深める) (実感を持つ) (確実に身に付ける)

○学びのつながり「これまで」「ここでは」「このあとは」 ○つなぎ教材の活用 ○ネームプレートの効果的な活用 ○タブレットの活用(GIGAスクール)

共
生
な
か
よ
く

【目指す子供の姿】 人間関係を築く力をもった子

先生と一緒に学級づくり

- ・学級の一員として仕事をしっかりします
- ・友達と仲良く過ごし、遊べるようにします

専門委員会を生かした学校づくり

- ・自分の役割や立場を自覚して、主体的に活動します
- ・一人一人の違いを認め合えるようにします

生徒会による生徒主体の学校づくり

- ・組織的な生徒会活動を通して、集団力の向上に努めます
- ・個性を尊重し合い、友達と協働して活動します

- いじめ防止基本方針によるいじめ防止担当教員中心の組織的取組
小学校<レインボー活動>1~6年生の縦割り班活動
遊びやゲームを通して、人間関係づくりの基礎を学びます
- 心に寄り添う教育相談
- スクール・カウンセラーによるカウンセリング
中学校<きずなタイム(ピア・サポート活動)>自分たちの手で創る縦割り班活動
課題について話し合い、解決方法や行事の充実に取り組みます

自
立
た
く
ま
し
く

【目指す子供の姿】 心身の健康を身に付けた子

自分のことは自分でする指導

- ・苦手な事も最後まで取り組みます
- ・きまりやルールを守ります

よりよく判断し、自主的に実践する指導

- ・なりたい自分を意識し、努力します
- ・自分の健康・命は自分で守る気持ちを持ちます

夢や目標をもち、主体的に実践する指導

- ・将来の目標や夢について考え、自分の進路実現に向けて努力します
- ・危険を予測し自分で判断して行動します

- 読書推進
- キャリア教育(キャリア・パスポート継続活用)
- 情報モラル教育
- 安全教育
- 小中一貫学校保健委員会
- 家庭や関係機関との連携

学校・家庭・地域の協働による「夢に向かってかがやく子」育成アクションプラン2022の周知と活用

学校運営協議会による学校課題の解決(承認・熟議)

- 評価部
- 広報部
- 連携推進部

地域学校協働本部「おのハンモック」との協働による教育活動

- 学年学級経営・教科指導・読書
- 郷土学習・地域との交流
- キャリア教育
- 安全教育

家庭・地域と学校をつなぐ9年間の合言葉 「自分からあいさつ 感謝 いじめ・事故ゼロ！」

- <PTA・家庭との連携> 望ましい生活習慣づくり SNSの適切な使い方の徹底 家庭での学習習慣づくり 専門委員会による学校行事への参画
- <関係機関> 区長会、民生児童委員協議会、更生保護女性会等との連携 幼保こ・小中・高の連携

「ミニ」ニ
ス
ク
ー
ル
・
テ
ィ